



中部大学春日丘高校 SGH通信 VOL 80

発行日
平成 29 年 11 月 16 日

11月8日(水)～10日(金)にかけて、南タンゲラン国立第2高校より、5人の生徒が来校し、2泊3日のホームステイプログラムを実施しました。3日間に渡る授業参加、交流会の様子です。

《歓迎セレモニー》



ようこそ春日丘へ！インドネシアの生徒は流暢な日本語で挨拶をしてくれ、ホストファミリーの生徒たちとも早速交流。

《授業参加》



英語のリーディング対決！



英語で日本紹介



調理実習



初めての書道。上手に書けました！



篠笛体験



コミュニケーション英語の授業は全て英語で行われ、生徒たちにとっては実際に外国人と英語でコミュニケーションをとる絶好の機会となりました。
他にも書道や篠笛、鬼まんじゅう作りなど、日本の文化を体験してもらいました。

《交流会》



生徒会によるMC



少林寺拳法披露



吹奏楽部演奏と日本の伝統舞踊「巫女舞」披露



南タンゲラン学校紹介とインドネシア文化について発表



熱唱中



インドネシアの生徒に質問

交流会ではお互いの文化を紹介。インドネシアの生徒たちは「翼をください」を日本語で熱唱してくれました。また、本校生徒から「英語をどうやって勉強していますか？」と質問を投げかけると、「日頃からテレビや映画は英語で見るとしています」とのこと。学校以外でも英語に触れることの大切さを教えてもらいました。



あっという間の3日間。また会いましょう。

一緒に授業を受けたり、お互いの国について英語で紹介し合ったり、たくさんの学びと刺激がある3日間でした。休み時間も積極的に話しかけている本校の生徒たちの様子を見て、とても頼もしく感じました。ホームステイプログラムはインドネシアの生徒たちにとって忘れられない思い出になったようです。この度のホームステイを受け入れてくださった保護者の皆様に、厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。